

令和5年度 学校評価(学校教育アンケート結果)

児童・保護者の肯定的評価

児童381名、保護者285名

項目	番号	内 容	児 童	保 護 者
学 校 経 営 全 般	1	学校は、教育方針や教育活動について各種たより(学校だより・学年だより・図書館・保健・給食だより)、ホームページ、授業参観等で分かりやすく伝えている。		94.4
	2	学校は、家庭、地域と連携・協力しながら教育活動に取り組んでいる。		94.0
	3	学校は、施設・設備・教具などの学習環境面を整えている。		89.1
	4	学校は、事故防止に配慮し、子どもの安全確保に対応している。(交通指導、学校安全ボランティア、緊急メールなど)		95.5
教 育 活 動 お よ び 子 ど も の 姿	5	学校は、基礎学力(音読・漢字・計算など)の定着に努めている。	75.3	94.4
	6	子どもは、授業がわかりやすいと言っている。	90.3	85.5
	7	子どもは、家庭学習(宿題・自主学習)によく取り組んでいる。	77.6	76.8
	8	学校は、道徳教育を大切にし、道徳の授業等を通して、思いやりや自分のよさを伸ばしていこうとする態度を身につけさせようとしている。	84.2	90.8
	9	学校は、子どもの悩みや健康などについて生活ふりかえりアンケートの実施や教育相談等により、相談に応じてくれている。	89.3	90.9
	10	学校は、面談等で話をしたり、連絡帳や電話等で連絡を取り合ったりする機会をもっている。		91.6
	11	学校は、休み時間の外遊びや体育の授業における運動量の確保等で体力の増強に努めている。	87.9	89.7
	12	学校は、運動会や校外学習、宿泊学習・修学旅行、持久走大会などの行事を、子どもたちが目標をもって取り組んでいけるように工夫している。	93.7	95.8
	13	学校は、一人一人の子どもを大切にした学級経営をしている。	86.8	88.7
	14	子どもは、学校に行くのを楽しみにしている。	80.0	83.7
	15	子どもは、学校に友達がいる。	96.8	96.5
	16	子どもは、あいさつや返事ができる子に育っている。	85.8	86.2
	17	子どもは、自分にはよいところや得意なことがあると感じている。	82.6	89.4
	18	子どもは、学校での学習の様子や出来事について家の人に話をしている。	84.7	82.8
	19	読書、読み聞かせは楽しい。(児童) / 子どもは、家で読書をしている。(保護者) / 子どもは、進んで読書をしている。(教職員)	87.6	42.8
	20	(5・6年)学校のために進んで働いている。	92.9	

全体集計とその考察

学校経営全般について 項目 1～4

- ◎保護者評価の肯定的評価ですが、昨年度とほぼ同様でした。新型コロナウイルス感染症が5類となり、通常の学校教育活動が展開できるようになり、学校に活気が戻りつつあります。そのような状況の中で、学校の教育方針や教育活動を「伝える」、また、家庭や地域の皆様と連携・協力しながら教育活動に取り組む努力をして参りました。今年度も、学校ホームページの更なる充実を図り、学校の教育方針や学校生活等をタイムリーにお伝えしてきました。保護者の皆様には昨年度に引き続き、高い評価をしていただけたことに感謝申し上げます。今後も、本校の教育方針や教育活動を「伝え」、家庭や地域の皆様とともにある学校づくりを推進していきたいと考えています。
- ◎「学校の安全対策」については、肯定的評価が95.5%と昨年度に引き続き高い結果が得られました。今年度の夏の暑さはこれまでに経験したことのない猛暑でしたが、熱中症対策として、熱中症計測器による測定、教室のエアコン使用など、児童の安全を第一に進めて参りました。今後も急な気象の変化や不審者情報における対応等について、通知やメール配信、立哨指導等に緊張感をもって取り組んで参ります。また、今年度も9月に「小山城北小安全ボランティア」「小山城北小ウォーキング・お散歩ボランティア」「小山城北小安全ボランティア犬」を募集いたしました。1月31日現在、「小山城北小安全ボランティア」8名、「小山城北小ウォーキング・お散歩ボランティア」23名、「小山城北小安全ボランティア犬」30匹の登録状況となっております。児童の登下校の安全を守るためにご協力をいただいております。おかげをもちまして、交通事故ゼロが続いております。安全ボランティアは、随時募集しておりますので、ご希望の方は、いつでもお気軽に学校までご連絡ください。

教育活動および子どもの姿について 項目 5～19

- ◎学習面「授業がわかりやすい」の項目では、児童評価が90.3%と非常に高い結果が得られました。児童の学習理解がより深まるよう、算数科を中心にプリントやICTを活用して学習内容の習熟を図ったり、課題となる内容に戻って学習したりすることの積み重ねの成果であると考えます。
- ◎「家庭学習」については、児童が4.9ポイント、保護者が3.7ポイント下がりました。学校では、家庭学習強化週間を毎学期位置付け、家庭学習カード(ぐんぐん)の使用、頑張りや工夫が見られる児童のノート掲示、ノートが1冊終了する毎に学校長からの励ましのコメント等、取組への意欲の向上を図っております。ご家庭におかれましても、家庭学習の習慣化が図れるよう、引き続きご協力をお願いします。
- ◎「道徳教育」では、児童評価が3.7ポイント、保護者評価が3.3ポイント上がりました。今年度も外部講師を招いての校内研修や授業研究会の実施を通して、授業改善に努めてまいりました。今後も、児童が道徳の授業において自分事として考えることを意識させたり、学んだことを日常生活の中で実践したりできるよう、道徳教育の更なる充実を図っていききたいと考えます。
- ◎「子どもの悩みや健康等について相談に応じている」では、児童評価が1.5ポイント、保護者評価は1.9ポイント上がりました。学期に1回の「教育相談」と毎月の「生活ふり返りアンケート」の実施により、定期的に子どもたちの実態を把握し、対応することができたと考えます。今後も、学校の組織を挙げて職員のみならずSC(スクールカウンセラー)やSSW(スクールソーシャルワーカー)、関係機関と連携し、どんな小さな相談にも誠実に耳を傾け適切に対応できる体制づくりを進めてまいります。
- ◎「体力の増強」では、児童・保護者・教職員ともに評価がわずかに上がりました。昨年度に引き続き、県教育委員会より体力向上エキスパートティーチャーが派遣され、5年生の体育の時間を中心に体力向上の取組や運動が苦手な児童に対する指導の充実を図って参りました。校内では、本校の体育部が中心となって、ボール運動を中心に実際に体を動かしながら安全かつ効果的な指導のポイント等を研修しました。これらの取組が今回の結果につながったのではないかと考えます。引き続き、体育の時間に運動量をしっかりと確保したり、休み時間や昼休みに児童が自ら工夫して運動に取り組んだりできるようにしていきたいと考えます。

- ◎「学校の各種行事に目標をもって取り組んでいる」は、児童評価が93.7%、保護者評価が95.8%と非常に高い結果が得られました。今年度の運動会は得点も取り入れ、障害走も復活しました。6年生の障害走「借り物競走」では、保護者や地域の方にも一緒に走っていただき、コロナ以前の活気を取り戻し、大変盛り上がりました。校外学習、宿泊学習・修学旅行など、学校を離れての学習では、学校での学習を生かして友達と協力する姿や頑張る姿、礼儀正しい姿など成長を感じることができました。今後も児童の安全を一番に考えながら、児童のためにできることを考えて実施したいと思います。
- ◎「学校に行くのが楽しみ」「学校に友達がいる」については、保護者評価は昨年度とほぼ同じでしたが、児童評価はともに4~5ポイントも上昇しました。このことは、児童一人一人が自己肯定感や自己有用感を実感できるような好ましい集団づくりの実践に努めた結果と考えます。今後も児童一人一人のよさが発揮できるよう、教員と児童および児童相互の人間関係を深め、居がいのある学級の好ましい雰囲気醸成を図ってまいります。
- ◎「あいさつや返事」に関しては、保護者評価は6.7ポイント下がりましたが、児童および教職員の評価が5~10ポイント以上も上がりました。昨年度の反省を踏まえ、相手に伝わるようにあいさつをする、相手の目を見てあいさつをする、きちんとお辞儀をするなどの具体的な指導に加えて6年生が中心となってあいさつ運動に継続して取り組んできた成果と考えています。なお、集団でのあいさつはよくできていても、登下校時などに一人になった際のあいさつに個人差が見られるようですので、ご家庭でもあいさつの声かけを継続してお願いいたします。
- ◎「自分によいところや得意なことがある」については、児童・保護者・教職員ともに昨年度とほぼ同様の結果となりました。この評価項目は、本校の学校教育目標のスローガン『きみがスター ~一人一人のよさを輝かせて~』に基づくものです。保護者89.4%と教職員93.3%に対して児童が82.6%という結果を受け、大人が思っているその子のよさを積極的に伝えていく必要があると考えます。学校におきましては、様々な教育活動の中で、児童に自信がつくような言葉かけや取組がたくさんできるよう、努めていきたいと思っております。
- ◎「読書」については、保護者評価が42.8%と昨年度よりもさらに低い結果となりました。「読書・お話しは楽しい」と答えている児童は、87.6%と高く、学校での児童の様子から、図書室で毎週2冊の本を借りて読んだり、週1回の朝読書の時間やボランティアの方々のお話し会の時間を楽しみにしている児童が多く見られます。今後は、学校だけでなくご家庭におかれましてはノーメディアデーの設定や親子読書など、本に親しむ機会を意図的に取り入れていただきますよう、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

まとめ

- 保護者評価は全体的に昨年度とほぼ同様、もしくはわずかではありますが、やや下がりました。コロナ禍が明けて、本来の教育活動が展開できるようになってきております。児童の安全・安心を守ることが学校として一番大切であるということ踏まえ、今後も教育活動を進めていきます。引き続き、本校教育に対するご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。
- 児童の評価につきましては、昨年度より全体的に上がっています。「道徳の授業や学級活動」「学校が楽しみ」「友達がいる」「学校での様子を家で話す」の4項目で昨年度よりも高い評価になっていることも大変うれしく思います。学校で力を入れて指導していることが児童に反映されているものと捉えております。学習面で、特に「家庭学習」の項目の評価が昨年度よりもやや低くなっています。「自ら学ぶ力」を育てるために、学校と家庭が連携し、家庭学習の充実を図っていききたいと思います。
- 教職員の評価は、全体的に昨年度とほぼ同様となっております。児童に高い目標をもたせることと同様、教職員も自ら目標を高く掲げ、自己研鑽に努めてまいります。

今後とも、学校教育に対して、保護者の皆様、地域の方々の

ご理解とご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。